

「英語コミュニケーションⅡ」学習指導案

指導者：○○○○

1 日時
令和○年○月○日（○） 第○限（○：○～○：○）

2 学級
普通科 第2学年○組（○名）

3 学級観
学習全般に対して前向きな生徒が多いクラスであり、ペアワークなどの言語活動に積極的に取り組むことができる。「聞くこと」に関わる言語活動に苦手意識をもつ生徒が多いため、背景知識を活性化させる活動を設定したり、聞くべきポイントを明確にしたりするなどの配慮が必要である。

4 教材
教科書 ○○（出版社）
単元 Lesson ○ タイトル

5 単元名及び内容のまとめ

この単元で生徒が学習する内容を簡潔に記載する。

(1) 単元名

英語を聞いたり読んだりして、必要な情報、概要や要点、詳細を捉える。

(2) 内容のまとめ

「聞くこと」イ、「読むこと」イ

6 「英語コミュニケーションⅡ」における「聞くこと」イ及び「読むこと」イの目標

「聞くこと」

イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。

「読むこと」

イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。

7 単元の目標及び評価規準

この単元では、「聞くこと」と「読むこと」に焦点を当てている。

(1) 目標

ユニバーサルデザインに関する説明を聞いたり読んだりして、概要や要点、詳細を捉えるとともに、その内容や言語材料を活用して自分の考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合うことができる。

目標は「～できる」の形で記載する。

(2) 評価規準

「聞くこと」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 文章を聞き取るために必要となる語彙や表現、比較表現の意味や働きを理解している。 ユニバーサルデザインについての文章を聞き取る技能を身に付けている。 	自分(たち)の考えを発表するために、国内外におけるユニバーサルデザインの事例についての対話文を聞いて、概要や要点、詳細を整理して捉えている。	自分(たち)の考えを発表するために、国内外におけるユニバーサルデザインの事例についての対話文を聞いて、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている。

「思考・判断・表現」と「主体的に学習に取り組む態度」は一体的に見取ることが可能であるため、「～している」と「～しようとしている」の部分だけが異なる形で記載することが基本となる。

「読むこと」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 文章を<u>読み取る</u>ために必要となる語彙や表現，比較表現の意味や働きを<u>理解</u>している。 ユニバーサルデザインについての文章を<u>読み取る技能</u>を身に付けている。 	自分(たち)の考えを発表するために，国内外におけるユニバーサルデザインの事例についての対話文を読んで，概要や要点，詳細を整理して捉え <u>ている</u> 。	自分(たち)の考えを発表するために，国内外におけるユニバーサルデザインの事例についての対話文を読んで，概要や要点，詳細を整理して捉え <u>ようとしてい</u> <u>る</u> 。

「指導と評価の計画」で一斉に記録に残す評価をどこで行うかを観点別で記載する。

8 指導と評価の計画

時間	ねらい (■)，言語活動 (丸数字)	知	思	態	備考
1 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ■単元のテーマに対する生徒の興味・関心を喚起するとともに，単元の目標を確認する。 ■単元のテーマに関する身近な情報を共有する。 ① 身近なユニバーサルデザインの例を共有する。 ② 国内外のユニバーサルデザインの事例を英語で紹介した動画を視聴し，各事例の目的を理解する。 				<ul style="list-style-type: none"> 単元を通して学習の振り返りは適宜行わせる。
2～4	<ul style="list-style-type: none"> ■教科書や関連する話題を扱った他教材から必要な情報を得たり，特定部分の要点を捉えたりする。 ① ユニバーサルデザインに関する対話文や説明文を聞いて，必要な情報(ユニバーサルデザインの基本的な考え方)を理解する。 ② 教科書を読んで，特定部分の要点(ユニバーサルデザインの事例とその効果)を理解する。 				
5	<ul style="list-style-type: none"> ■本単元で学習したことや，教師やALTから得た情報などを参考にして，自分のユニバーサルデザインのアイデアをまとめる。 ① ALTが考えたユニバーサルデザインとその効果に関する説明を聞いて，概要や要点を捉える。 ② 教師が考えたユニバーサルデザインとその効果を説明した英文を読み，概要や要点，詳細を捉える。 ③ ALTや教師の例を参考に，今後必要になると思うユニバーサルデザインを考え，語句レベルでメモを作成する。 ④ ③のメモを活用しながら，アイデアをペアで伝え合う。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを配布し，①の概要・要点，②の概要・要点・詳細の記載状況から「思考・判断・表現」を評価する。あわせて，「主体的に学習に取り組む態度」も評価する。

「ねらい (■)」を「9 本時のねらい」に記載する。また、「10 本時の展開」の適当な箇所を，①②の「言語活動 (丸数字)」を記載する(適宜，具体化する)。

6	<p>■グループとしてのアイデアをまとめ、プレゼンテーションの準備を行う。</p> <p>① 今後必要になると思うユニバーサルデザインについて、グループで各自のアイデアを説明し、ベストアイデアを選出する。</p> <p>② ①で選んだアイデアについて、更にどのような改善を加えることができるかをグループで話し合う。</p> <p>③ グループで話し合った内容を整理し、プレゼンテーションソフトを使って、スライドにまとめる。</p> <p>④ プレゼンテーションソフトを使って、発表練習を行う。</p>	<p>一斉に記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を見届けて指導に生かすことは毎時間行う。</p>	
7	<p>■プレゼンテーションを行うとともに、他グループの発表内容を評価する。</p> <p>① クラス全体に対し、グループのアイデアを発表する。</p> <p>② 各プレゼンテーションの後に、聞き取った内容をグループ内で確認する。また、それが有効なアイデアだと思うかどうかを伝え合う。</p>		
後日	ペーパーテスト	○ ○	

9 本時のねらい

■単元のテーマに対する生徒の興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。

■単元のテーマに関する身近な情報を共有する。

「ねらい」は「～する」の形で記載する。

10 本時の展開

時間	指導過程	生徒の活動	教師の活動 及び 指導上の配慮	評価の観点 及び 評価方法
5分	1. Introduction & Warm-up -Small Talk 及び単元の目標の確認	<ul style="list-style-type: none"> 教師の Small Talk を聞き、ペア及びクラス全体で内容を確認する。 単元の目標を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元のテーマに対する生徒の興味・関心を喚起するとともに、単元の目標を確認する。 話す速度を調整したり、理解する上で重要な情報を強調して発音したりする。 	<p>言語活動において、支援が必要な生徒に対する指導上の配慮を記載する。</p>
15分	2. Speaking -身近なユニバーサルデザインの例の共有	<ul style="list-style-type: none"> 身近なユニバーサルデザインの例を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 話題の背景について説明したり、話題について知っていることを生徒とやり取りしたりする。 	

25分	3. Listening -国内外のユニバーサルデザインの事例に関する動画の視聴	<ul style="list-style-type: none"> 国内外のユニバーサルデザインの事例を英語で紹介した動画を視聴し、各事例の目的を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞き取る情報を分割したり、聞き取る視点を変えながら繰り返し聞かせたりすることで、聞き取りの負担を軽減する。 理解が難しいと思われる語句や表現を、簡単な表現や既習の表現で言い換える。 	
5分	4. Wrap-up -振り返りと次回の予告	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習を内容面と表現面の観点から振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> 次回以降の授業で特に必要な内容や表現を再度確認し、次回以降につなげる。 	

本時で学習する内容は記録に残す評価の対象ではなく、授業内で一斉に記録に残す評価も行わないため、「評価の観点及び評価方法」の欄は空欄となる。一方で、例えば、「8 指導と評価の計画」の5時間目であれば、一斉に記録に残す評価（「思」「態」）をワークシートを用いて評価するため、「評価の観点及び評価方法」には「「思」「態」及び「8 指導と評価の計画」の「備考」の内容を適宜、記載する。